

平成 23 年 7 月 15 日
大臣官房技術調査課・公共事業調査室
大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室
総合政策局公共事業企画調整課

公共工事等における新技術活用システム（NETIS）における 平成 23 年度推奨技術等の選定結果について ～推奨技術として 4 技術を選定～

国土交通省では、民間企業などの有用な新技術の活用促進のため「公共工事等における新技術活用システム」を運用しています。その中で、公共工事等に関する技術の水準を一層高めるため、画期的な技術について、有識者会議（新技術活用システム検討会議）にて、「推奨技術」「準推奨技術」として選定しています。選定された技術に対しては、総合評価方式の技術提案における積極的な評価などの普及啓発や活用促進等を行います。（別紙 1 参照）
この度、平成 23 年度推奨技術として 4 技術、準推奨技術として 4 技術を選定しました。

今年度選定された推奨技術は 4 技術と昨年度の 1 技術から大幅に増えました。また、推奨技術と準推奨技術の合計数も 8 技術と昨年度の 7 技術に比べ増加しています。

<「推奨技術」・「準推奨技術」の年度ごとの選定数>

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
推奨技術	0 技術	0 技術	1 技術	1 技術	4 技術
準推奨技術 (H19・20 年度は推奨技術候補)	2 技術	4 技術	7 技術	6 技術	4 技術

平成 23 年度推奨技術等の主な選定対象技術は、平成 22 年度に事後評価された有用な新技術（「設計比較対象技術」「少実績優良技術」「活用促進技術」）のうち各地方整備局等の新技術活用評価会議が推薦する技術です。（別紙 2 参照）

平成 22 年度より事後評価情報の一層の充実を図るため、事後評価実施時期の要件である活用件数を 10 件から 5 件に緩和しました。これにより平成 22 年度に事後評価された技術は 174 技術（うち有用な新技術は 63 技術）となり、平成 21 年度の 116 技術（うち有用な新技術は 34 技術）に比べ大幅に増加しました。その影響もあり選定対象技術が昨年度の 9 技術から 19 技術に増え、これまでに比べ多くの推奨技術が選定される結果となりました。

■ 平成 23 年度推奨技術（新技術活用システム検討会議(国土交通省)）

- ・ **パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)**
(副題) 浅層・中層混合処理工法

- ・ **リテラ(BZ210・BZ200・BZ120)**
(副題) 自走式土質改良機

- ・ **オートゲート(門柱レス樋門)**
(副題) 無動力自動開閉ゲート

- ・ **排水性舗装用溝切り工法**
(副題) 排水性舗装工事における排水用溝形成工法

■ 平成 23 年度準推奨技術（新技術活用システム検討会議(国土交通省)）

- ・ **ダイプラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法**
(高耐圧ポリエチレン管)

- ・ **エポコラム工法**
(副題) エポコラム-Loto 工法 (大口径φ2,500 地盤改良工法)

- ・ **ユニラップ工法**
(副題) 長距離・高揚程材料圧送工法

- ・ **KK シート工法**
(副題) コンクリート鉛直打継目処理シート工法

<添付資料>

- (別紙 1) 平成 23 年度「推奨技術」「準推奨技術」の選定について
- (別紙 2) 「推奨技術」「準推奨技術」について
- (別紙 3) 選定技術概要
- (別紙 4) 公共工事等における新技術活用システムについて (概要)

<問い合わせ先>

- 国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 増 竜郎、柳 紀昌
代表： 03-5253-8111 (内線 22343, 22348)、直通： 03-5253-8125
- 国土交通省大臣官房公共事業調査室 課長補佐 山形 創一
代表： 03-5253-8111 (内線 24295)、直通： 03-5253-8258
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室 専門官 高原 洋介
代表： 03-5253-8111 (内線 23514)、直通： 03-5253-8238
- 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課課長補佐 佐々木 喜八
代表： 03-5253-8111 (内線 24953)、直通： 03-5253-8286